

終りしん

二世三師の概

法人

講

敬言戒は非常上品に重んずる正物 服念して二十四百を行列三十名  
 毎に五三のの服を配しその回には物服が加はり終くと此カ  
 者を取り圍つる有指の流道には各民保衛の世に官が一同  
 置りていひて言ふ終る一聖事 踏切る場所迄南寺の  
 下カ竹若か比較の驛の所は五三十名の世に官が加はり終ると  
 又又攪起末若者運送のころにはトウワウを置りて(印)を  
 終る(印)を 示威運動を既取締る殊とて四月指なるこ  
 とは例年の運り解散地のは往々しとカ竹若か驛ぐを以  
 つてトウワウを置りて解散地附近に準備したる一  
 の攪起を以て無く年持無流込の経歸するまで上野台園  
 附近には群集は世に官の敷りするよりカ竹若の示威  
 運動の以て無く世に官の示威運動の以てと云ふこと

財團 局 開